



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

中学

国語 一年

十月 第③週



学習を始める前に

①必ず用意してください

・ノート

(学習しやすいように、漢字のノートと国語のノートを分けるなど工夫をすること。)

・筆記用具 (赤ペンも用意すること。)

②注意

・大事だと思うところはノートに書いてください。

・このビデオで使っているスライドを印刷したい人は、最後の**お知らせ**を見てください。

・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示に従ってください。

・必要があるときは、ビデオを止めたり、もう一度ビデオを見たりするなど、それぞれ工夫をください。

先週の宿題から

1. 漢字

今日の漢字テストでできなかった漢字の練習をしましょう。

文章で書けるように、新出漢字以外の漢字も復習のため練習しましょう。

2. 音読 「大人になれなかった弟たちに・・・」を読みましょう。

3. この作品の主題を考えましょう。

- ・戦争のために死んでいった子どもたちへの気持ち
- ・戦争のために大人になる前に命を絶たれてしまった多くの子供たちの死を悲しんでいる。

- ・戦争に対する気持ち
- ・戦争をにくむ気持ち。

- ・この作品を通じて、何を願っているのか。

作者はこの作品を通して、永遠の平和を願っている。



大人になれなかった

よねくら まさかね
米倉 斉加年

弟たちに……

僕の弟の名前は、ヒロユキといいます。僕が小学校四年生の時に生まれました。そのころは小学校といわずに、国民学校といっていました。

僕の父は戦争に行っていました。太平洋戦争の真っ最中です。

空襲といって、アメリカのB29という飛行機が毎日のように日本に爆弾を落とすにきました。夜もおちおち寝ていられません。毎晩、防空壕ぼうくうごうという地下室の中で寝ました。

地下室といっても、自分たちで掘った穴ですから、小さな小さな部屋です。僕のうちでは、畳を上げて床の下に穴を掘りました。母と僕で掘ったのです。父は戦争に行つて留守なので、家族は、僕と母と祖母と妹と弟の五人です。五人が座ったらそれでいっぱい穴です。

弟は生まれて間もないのですが、いつも泣かないで一人でおとなしく寝ていました。母は穴を掘りながら、ヒロユキがおとなしいから助かる、と言っていました。

*B29 そのころのアメリカの最新型長距離爆撃機ばくげきき

〈新出漢字〉

空襲しゅう

爆弾ばくだん

寝るね

掘るほ

畳たたみ





そのころは食べ物が多分になかったの、母は僕たちに食べさせて、自分はあまり食べませんでした。でも弟のヒロユキには、母のお乳が食べ物です。母は自分が食べないので、お乳がでなくなりまして、ヒロユキは食べるものがありません。おもゆといっておかゆのもつと薄いのを食べさせたり、やぎのミルクを遠くまで買いに行つて飲ませたりしました。

でも、ときどき配給がありました。ミルクが一缶、それがヒロユキの大切な大切な食べ物でした……。

みんなにはとうていわからないでしょうが、そのころ、甘いものはぜんぜんなかったのです。あめもチョコレートもアイスクリームも、お菓子もなんにもないころなのです。食いしん坊だった僕には、甘い甘い弟のミルクは、よだれが出るほど飲みたいものでした。

母は、よく言いました。ミルクはヒロユキのご飯だから、ヒロユキはそれしか食べられないのだからと――。

でも、僕はかくれて、ヒロユキの大切なミルクを盗み飲みしてしまいました。それも、何回も……。

僕にはそれがどんなに悪いことか、よくわかっていたのです。でも、僕は飲んでしまったのです。僕は弟がかわいくてかわいくてしかたなかったのですが、……それなのに飲んでしまいました。

***配給 戦争中、不足した物資を政府が統制し、品物などを一定の割合で消費者に配ること**

〈新出漢字〉

一缶 かん

お菓子 か

盗み飲み ぬす





あまり空襲がひどくなってきたので、母は**疎開**しようと言いだしました。それである日、祖母と四歳の妹に留守番を頼んで、母が弟をおんぶして僕と三人で、しんせきのいる田舎へ出かけました。ところが、しんせきの人は、はるばる出かけてきた母と弟と僕を見るなり、うちには食べ物はないと言いました。僕たちは食べ物をもらいに行ったのではなかったのです。引越しの相談に行ったのに。母はそれを聞くなり、僕に帰ろうと言って、くると後ろを向いて帰りました。

その時の顔を。僕は今も忘れません。強い顔でした。でも悲しい悲しい顔でした。僕はあんなに美しい顔を見たことはありません。僕たち子供を必死に守ってくれる母の顔は、美しいです。僕はあのとこのことを思うと、いつも胸がいつぱいになります。

母は行ったこともない山の中の親切な人に頼んで、やっと疎開先が決まりました。とりあえず必要な荷物だけを持って、引越することになりました。それでも、荷物は馬車一台ありました。僕と母と祖母と妹、それに弟は、その馬車の荷物の上に座って、ゆらりゆらり揺れながら、朝、家を出て、南にむかって旅立ちました。福岡から南へ二十キロくらい行った、石釜という山あいの村です。

馬車の上で昼のおむすびを食べ、昼すぎには、きれいな溪流に沿って山路へかかりました。美しい青空、桃の花が咲く山村、橋からはあゆの泳ぐのが見られます。生まれて初めてみる、**桃源郷**でした。

これから始まる苦しい生活など、僕にはまだ分からない年ごろでした。ですから、毎日あのおゆをとっておかずには母が喜ぶだろうと思ったりして、これからの生活に胸をはずませました。

***疎開** 空襲などによる戦災から身を守るため、な地方へ引越すこと。

***桃源郷** 俗世間を離れたすばらしい別世界。



〈新出漢字〉

疎開

溪流

咲く



僕たちがお世話になる農家は、すぐ裏の山が頭の上におおいかぶさるような山すそにありました。その農家の庭に面した六畳間の一部屋を借りました。家の前の溪流には飛び石が対岸に続き、大雨の日にはわたれません。下流の橋をわたって学校に行きました。

母は生まれて初めて田植えを手伝い、昼に出されるご飯を僕たちに残して、持って帰ってきました。

僕たち疎開者には配給もありませんので、母は自分の着物を持っていき、近所の農家の人たちをお願いして、米と交換してもらっていました。

疎開しても、ヒロユキのお乳には困りました。隣村にやぎを飼っている農家があると聞いては、母は着物をふろしきに包んで出かけました。

母の着物はなくなりました。

ヒロユキをおんぶして、僕はよく川へ遊びに出かけました。僕は弟が欲しかったので、よくかわいがりました。

ヒロユキは病気になりました。僕たちの村から三里くらい離れた町の病院に入院しました。僕は学校から帰ると、毎日、まきと食べ物と祖母に用意してもらい、母と弟のいる病院に、バスに乗って出かけました。

十日くらい入院したでしょうか。

ヒロユキは死にました。

暗い電気の下で、小さな小さな口に綿にふくませた水を飲ませた夜を、僕は忘れられません。泣きもせず、弟は静かに息をひきとりました。母と僕に見守られて、弟は死にました。病名はありません。栄養失調です……。

*三里 一里は、約三・九キロメートル

〈新出漢字〉

交換

隣村



死んだ弟を母がおんぶして、僕は片手にやかん、そして片手にヒロユキの身の回りのものを入れた小さなふるしき包みを持って、家に帰りました。

白い乾いた一本道を、三人で山の村に向かって歩き続けました。バスがありました。母は弟が死んでいるのでほかの人に遠慮したのでしよう。三里の道を歩きました。

空は高く高く青く澄んでいました。ブーンブーンというB29の独特のエンジン音がして、青空にきらつきらつと機体が美しく輝いています。道にも畑にも、人影はありませんでした。歩いているのは三人だけです。

母はときどきヒロユキの顔に飛んでくるはえを手ではらいながら、言いました。

「ヒロユキは幸せだった。母と兄とお医者さん、看護婦さんにみとられて死んだのだから。空襲の爆撃で死ねば、みんなばらばらで死ぬから、もつとかわいそうだった。」

家では祖母と妹が、泣いて待っていました。部屋を貸してください。家では祖母と妹が、泣いて待っていました。部屋を貸してください。作っていた農家のおじさんが、杉板を削って小さな小さな棺を作っていたくださいました。弟はその小さな小さな棺に、母と僕の手で寝かされました。小さな弟でしたが、棺が小さすぎて入りませんでした。

母が、大きくなっていたんだね、とヒロユキのひざを曲げて棺に入れました。そのとき、母は初めて泣きました。

父は、戦争に行つてすぐ生まれたヒロユキの顔を、とうとう見ないままでした。

弟が死んで九日後の八月六日に、ヒロシマに原子爆弾が落とされました。そして三日後にナガサキに――。

そして、六日たった一九四五年八月十五日に戦争は終わりました。

僕はひもじかったことと、弟の死は一生忘れません。

〈新出漢字〉

澄む ス

爆撃 ゲキ

杉板 スギ

削る ケズ

棺 カン

まとめの問題

母は行ったこともない山の中の親切な人に頼んで、やっと疎開先が決まりました。とりあえず必要な荷物だけを持って、引越しすることになりました。それでも、荷物は馬車一台ありました。僕と母と祖母と妹、それに弟は、その馬車の荷物の上に座って、ゆらりゆらり揺れながら、朝、家を出て、南にむかって旅立ちました。福岡から南へ二十キロくらい行った、石釜という山あいの村です。

馬車の上で昼のおむすびを食べ、昼すぎには、きれいな溪流に沿って山路へかかりました。美しい青空、桃の花が咲く山村、橋からはあゆの泳ぐのが見られます。生まれて初めてみる、桃源郷でした。

これから始まる苦しい生活など、僕にはまだ分からない年ごろでした。ですから、毎日あのおゆをとっておかずには母が喜ぶだろうと思ったりして、これからの生活に胸をはずませました。

僕たちがお世話になる農家は、すぐ裏の山が頭の上におおいかぶさるような山すそにありました。その農家の庭に面した六畳間の一部屋を借りました。家の前の溪流には飛び石が対岸に続き、大雨の日はわたれませんが、下流の橋をわたって学校に行きました。

母は生まれて初めて田植えを手伝い、昼に出されるご飯を僕たちに残して、持って帰ってきました。

僕たち疎開者には配給もありませんので、母は自分の着物を持っていき、近所の農家の人たちにお願いで、米と交換してもらっていました。

(1) —①「疎開先」はどこですか。

(2) —②「桃源郷」とありますが、どんな様子を指してこのように表現していますか。最もわかる一文の最初の五文字を書きましょう。

(3) —③「苦しい生活」の様子が書かれてる部分の最初と最後を五文字ずつ書きましょう。

(4) —④「これからの生活」に対する、このときの「僕」の気持ちを表した言葉として、最もふさわしいのはどれですか。

ア 期待 イ 不安 ウ 緊張 エ 冷静



まとめの問題

母は行ったこともない山の中の親切な人に頼んで、やっと疎開先が決まりました。とりあえず必要な荷物だけを持って、引越しすることになりました。それでも、荷物は馬車一台ありました。僕と母と祖母と妹、それに弟は、その馬車の荷物の上に座って、ゆらりゆらり揺れながら、朝、家を出て、南にむかって旅立ちました。福岡から南へ二十キロくらい行った、石釜という山あいの村です。

馬車の上で昼のおむすびを食べ、昼すぎには、きれいな溪流に沿って山路へかかりました。美しい青空、桃の花が咲く山村、橋からはあゆの泳ぐのが見られます。生まれて初めてみる、桃源郷でした。

これから始まる苦しい生活など、僕にはまだ分からない年ごろでした。ですから、毎日あのおゆをとっておかずには母が喜ぶだろうと思ったりして、これからの生活に胸をはずませました。

僕たちがお世話になる農家は、すぐ裏の山が頭の上におおいかぶさるような山すそにありました。その農家の庭に面した六畳間の一部屋を借りました。家の前の溪流には飛び石が対岸に続き、大雨の日はわたれませんが、下流の橋をわたって学校に行きました。

母は生まれて初めて田植えを手伝い、昼に出されるご飯を僕たちに残して、持って帰ってきました。

僕たち疎開者には配給もありませんので、母は自分の着物を持っていたき、近所の農家の人たちにお願いで、米と交換してもらっていました。

(1) —①「疎開先」はどこですか。

石釜という山あいの村

(2) —②「桃源郷」とありますが、どんな様子を指してこのように表現していますか。最もわかる一文の最初の五文字を書きましょう。

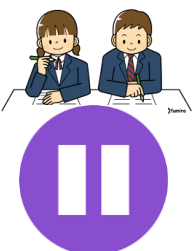
美しい青空

(3) —③「苦しい生活」の様子が書かれてる部分の最初と最後を五文字ずつ書きましょう。

母は生まれくいました。

(4) —④「これからの生活」に対する、このときの「僕」の気持ちを表した言葉として、最もふさわしいのはどれですか。

ア 期待 イ 不安 ウ 緊張 エ 冷静



感想文を書きましよう。

序論（書き出し） ↓ 本論（本文） ↓ 結論（まとめ）

序論（書き出し）

段落①（どうしてこの本を選んだかの理由・この本を読む前の気持ち・この本を読んで自分の思った一番強い印象*残ったせりふや人物、出来事を使って書く*）

〈例〉戦争の時代に生きるということは、本当に大変ことだ。例えば食べ物・・・／ぼくは、今の時代に生まれて自分が今どれほどラッキーなのか分かって、・・・

本論（本文）

段落②あらすじや主な出来事をできるだけ短く（いつ／どこで／だれが／なにをしたか、簡単に短くまとめましよう。）

段落③自分の心の動きとその理由（事件や出来事についてどう思ったのかとその理由・事件や出来事について自分だったらどうするかとその理由・登場人物について*好きな理由や嫌いな理由*・もし自分がその登場人物だったらどうするかとその理由）

〈例〉とても悲しくなった。もし、わたしの生きている場所がこんな状況で、お父さんが・・・／今も、多くの人々が戦争で飢えて苦しんでいる。・・・

段落④ 段落③で書いたことへの反論とそれについての答え

〈例〉しかし、くなんて出来るわけがないという人がきつっているかと思えます。でも私は次のようにすれば必ず出来る思います。例え・・・／こんなことをする登場人物は嫌いだと思うかもしれませんが。でも私はこの登場人物のこの行動の裏に隠された・・・

結論（まとめ）

段落⑤本から学んだこと（○○が、どんなに大切なことかわかった・自分も○○できるようにになりたい・登場人物の感想から考えて、自分がこれからどんな人物になりたいか）

〈例〉わたしの持っている幸せを少しずつでも他の人に分けてあげたい。そのためにも・・・／物語ではこんな出来事がありました。同じようなことがあったとき、私は・・・

全部書いたら、原稿用紙やノートに、感想文を書いてみよう。



上野公園 なぜ文化施設多い？

◆東京・台東区の上野公園には、博物館や美術館など、たくさん文化施設があります。なぜ、こんなにたくさん集まっているのでしょうか。

台東区の上野公園には、東京国立博物館や、建築家ル・コルビュジエが手かけ、世界遺産となった国立西洋美術館など多数の文化施設がある。明治維新の戦火でいったんは焼け跡と化した上野は、どのような文化の拠点きよてんとなったのか。

年	西暦	施設名	現在名
1877	明治10	教育博物館	(⑦東京科学博物館の前身)
1882	明治15	①博物館(東京国立博物館)	
1888	明治21	②日本美術協会美術展示館(上野の森美術館)	
1906	明治39	③帝国図書館(国際子ども図書館)	
1926	大正15	④東京府美術館(東京都美術館)	
//	//	⑤帝国学士院会館(日本学士院会館)	
1928	昭和3	⑥黒田記念館	
1931	昭和6	⑦東京科学博物館(国立科学博物館)	
1958	昭和33	⑧日本芸術院会館	
1959	昭和34	⑨国立西洋美術館	
1961	昭和36	⑩東京文化会館	
1980	昭和55	⑪下町風俗資料館	

丸囲み数字は地図上の現在の位置、カッコ内は現在の名称など



① 美術館、博物館、それ以外の施設の名前を書きだし、気が付いたことを書きましょう。

美術館 **上野の森美術館**

博物館 **東京国立博物館**

その他 **国際子ども図書館**

② 世界遺産となったのは何という施設ですか。また、その施設はどこにありますか。説明しましょう。

国立西洋美術館



江戸時代、上野の山は徳川家ゆかりの**萩比叡山寛永寺**（現・台東区上野桜木）の境内だった。現在の噴水の場所に中堂、東京国立博物館の位置に本坊があったというが、一八六八年（慶応四年）、旧幕府側の**彰義隊**が寛永寺に立てこもり、新政府軍と戦った上野戦争で建物の大半が炎上した。

上野は**荒廃**したが、高台にあつて水はけが良い上、低い土地で発生した火災も**延焼**しにくい。かつては境内で桜の名所でもあつたため人の往来もしやすい場所だった。こうした土地から戦火で寺の建物が焼失して広大な跡地が残されたため、様々な利用計画が持ち上がった。

上野公園ではその後、「**東京勧業博覧会**」「**発明品博覧会**」など二十回を超える「**博覧会**」が明治く大正期に開催された。一九二三年の関東大震災を境に博覧会場の役割は次第に減っていくが、復興を経て施設は増え続ける。三十一年開館の東京科学博物館の前身は明治期の「**教育博物館**」で、上野の博物館施設としては第一号だったが一八八九年に閉館、湯島に移転したが、再び上野に戻った。これが後の国立博物館となる。

〈読売新聞より〉

① 上野公園がある山は、何という建物がありましたか。

② 内容をまとめましょう。

③ 感想や、意見を書きましょう。



宿題

次回の授業までにやる勉強です。

1. 漢字

新しく習った漢字の復習をしましょう。
文章で書けるように、新出漢字以外の漢字も復習のため練習しましょう。

2. 音読

「大人になれなかった弟たちに・・・」新聞記事「上野公園 なぜ文化施設多い？」を読みましょう。

3. 『弟が死んで九日後の八月六日に、ヒロシマに原子爆弾が落とされました。そして三日後にナガサキに。そして、六日たった一九四五年八月十五日に戦争は終わりました。僕はひもじかったことと、弟の死は一生忘れません。』を、しっかり読んで理解しましょう。

そして、次の三つのうち一つについて調べてまとめましょう。

- ・ 広島の原爆
- ・ 長崎の原爆
- ・ 終戦の日



お知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ このビデオのスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から
ダウンロードや印刷ができます。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

中学

国語 一年

年間学習表



身につけたい力

7月	6月	5月	4月	
		発見したことを伝えよう スピーチの構成を考え、 メモをもとにスピーチ をしよう。	野原はうたう 好きな詩を、登場する 生き物の気持ちになっ て朗読しよう。	話す／聞く 一年間の学習を通して 先生の話を聞き、学習 を進めよう。
文章の推敲と原稿用紙の 使い方 推敲のポイントと原稿 用紙のうえでの推敲の 仕方を知ろう。原稿用 紙の決まりを確かめよ う。	情報を文章にまとめよう 自分の身の回りのこと について、情報を集め、 文章にまとめよう。	発見したことを伝えよう スピーチの構成を考え、 スピーチメモを書こう。	野原はうたう 自分の好きな生き物を 選んで、詩を作ろう。	書く 新聞記事 記事の要約をし、記事 に対する自分の意見 ^{コメント} や感想を書こう。
光と風からもらった贈り 物 筆者が「高原」のどん なところに、言葉の豊 かさを感じているかを とらえよう。	クジラたちの声 クジラの情報伝達に関 する二つの問いをおさ え、音の役割、海中で の情報伝達に音が最適 である理由をつかもう。	ちよつと立ち止まって 各図の説明を通して、 ものの見方について、 筆者が述べていること をとらえよう。	野原はうたう 作者が生き物の姿にど んな思いを感じている かを、読み取ろう。 にじの見える橋 少年の行動や心情に着 目し、にじを見る前と あとの気持ちの変化を とらえよう。	読む 新聞記事 新聞記事を読もう。
混同しやすい漢字 形が似ていたり音が同 じであったりする漢字 を知り、間違えて使わ ないように気をつけよ う。	言葉の単位 文節や単語に区切る方 法を知ろう。	漢字の組み立てと部首 漢字の部分のよび名と 表すものを覚えよう。	話し言葉と書き言葉 話し言葉と書き言葉の 違いをおさえよう。	言葉

	3月	2月	1月	
				話す／聞く
		心に残る思いで読み手の興味を引くように、発表しよう。		
	言葉を調べよう 言葉についての課題を調べ、資料にまとめる。	心に残る思いで今までの経験で、自分が成長したと思えることや、変わったと思うことを思い出して、文章にまとめよう。	江戸からのメッセージ 江戸の知恵を今の時代に生かせることは何か考え、それをまとめよう。	書く
	胸の底の人と言葉たち 人や言葉との出会いを読み取り、筆者がわたしたちに願うことは何かを考えよう。	少年の日の思い出 登場人物の心情の移り変わりをとらえ、生き方を考えよう。	江戸からのメッセージ リサイクルを徹底した江戸っ子の生活と、そこから導かれた筆者の主張をつかもう。	読む
〈一年生の漢字〉 一年生で習った漢字の復習をしよう。		漢字の成り立ち 漢字の成り立ちをおさえ、成り立ちで意味や読みを類推できることを知ろう。	辞典を活用しよう 国語辞典、漢和辞典の使い方を知り、実際に様々な言葉を調べよう。	言葉
		指示する語句と接続する語句 指示する語句と接続する語句の種類や用法を理解しよう。		